
姫路商工会議所 2019年度事業報告〔概要〕

新体制発足、新たな3カ年中期計画に基づき活動

【新スローガン】

変革への行動

100周年に向け、さらに信頼される商工会議所を目指して
会員に寄り添い、地域の可能性と魅力を発信する

【重点項目】

- ★働き方改革・税制改正等への企業対応支援
- ★中小企業強靱化（BCP）の推進
- ★早期・計画的な事業承継支援の強化
- ★次世代産業としての観光産業育成に向けた取り組み
- ★持続可能なものづくり・まちづくりへの取り組み
- ★地域唯一の総合経済団体として積極的な意見活動
- ★設立100周年事業の具体化

【取り組みテーマ】

◆企業力の向上

事業所に対する伴走型経営支援の拡充

◆地域力の向上

地域活性化に向けた取り組み及び行政への提言力の強化

◆会員サービス力の向上

設立100周年を見据えた中・長期的な成長戦略と基盤整備



創業支援

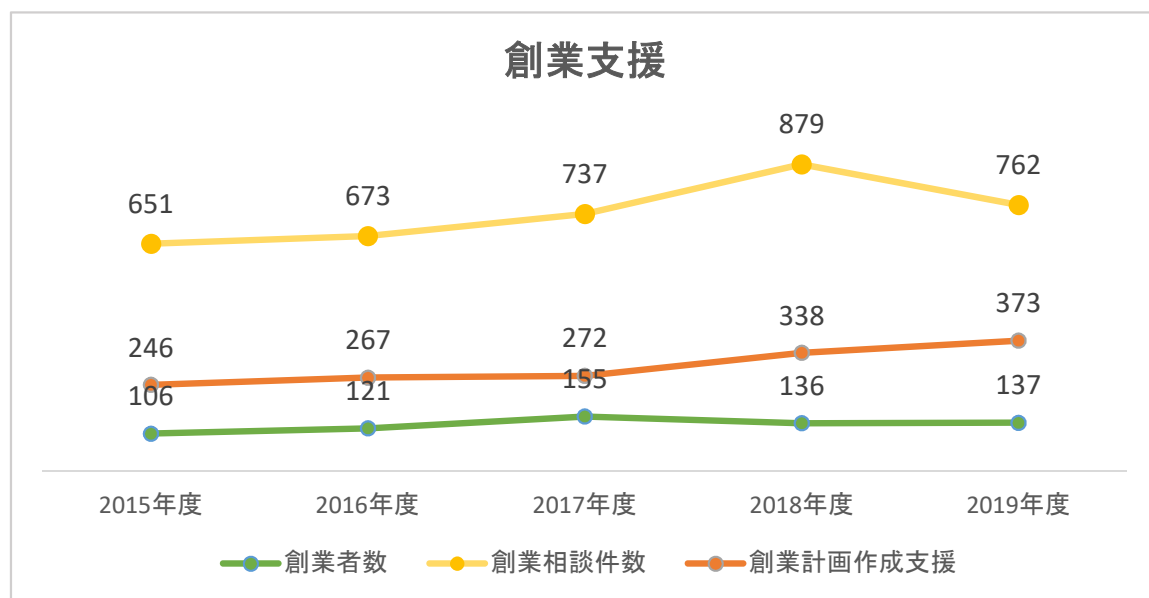
創業ステーションによる支援

創業支援・事業承継支援に関するワンストップ窓口

「姫路創業ステーション」事業を実施。

計画書の作成支援や経理指導、融資の紹介等を行った。

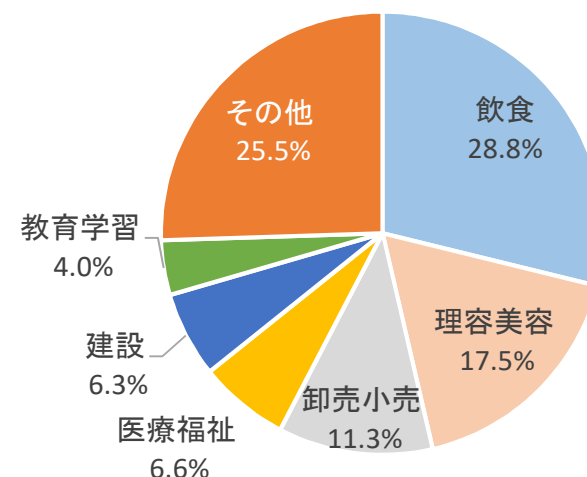
- ・相談件数762件、うち相談後、創業した事業所137件
- ・創業計画作成支援373件



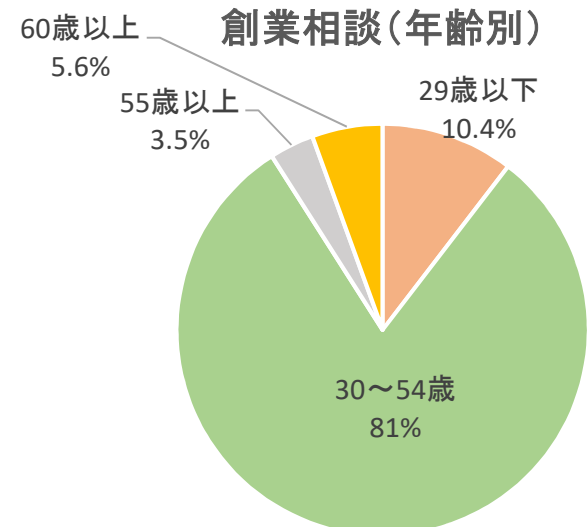
また、創業予定者に対してセミナーを定期的を開催し、創業に必要な知識・情報の提供および人的ネットワークの形成支援を行った。

- ・創業セミナー5回、受講者131名
- ・スタートアップセミナー1回、受講者35名

創業相談(業種別)



創業相談(年齢別)



事業承継支援

〈事業承継相談窓口〉

公的機関と連携したワンストップ窓口として、事業承継に関するサポートを実施した。

（相談件数 171件）

併せて、個人版事業承継税制に関して、広報媒体による情報発信を行った。

さらに、こうした取り組みに対し、更なる支援強化を兵庫県・姫路市へ要望した。

【所報特集記事】

個人事業者が事業承継を行う際の税負担をゼロとする新しい制度が創設されました

個人版事業承継税制のポイント

- ①後継者の承継時の現金負担をゼロにします。
納税額の全額(100%)が納税還予されます。
- ②多様な事業用資産が対象です。
事業を行うために必要な、多様な事業用資産が対象です。
●土地・建物(土地は400㎡、建物は800㎡まで。)
●機械・器具備品
(例) 工作機械・パワーショベル・ガソリン給油機・冷蔵庫・診療機器等
●車両・運搬具
●生物(乳牛等、果樹等)
●無形償却資産(特許権等) 等
- ③相続税だけでなく、贈与税も対象です。
生前贈与による、早め早めの事業承継の準備を応援します。
- ④10年間の時限措置です。
2019年1月1日～2028年12月31日の間に行われる相続・贈与が対象です。

【注1】 制度を活用するためには、①経営承継円滑化法に基づく認定が必要です。②平成31年度から5年以内に、予め承継計画を提出する必要があります。

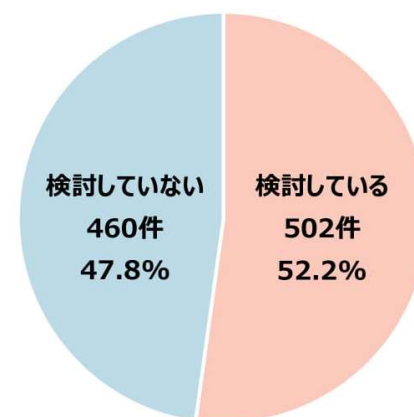
【注2】 既存の事業用小規模宅地特例との選択制です。

【2019年度】市内企業の事業承継に関する調査

当所の事業承継支援への活用を目的に、中小企業の事業承継の取り組み状況や、事業承継を行うにあたっての障害・課題等について、調査を実施した。（調査年月:2020年3月）

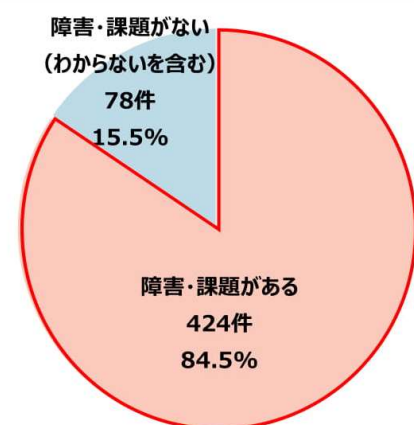
（対象：5,258社 回答：962社）

【調査：事業承継の検討状況】



	件数
息子・娘	303
娘婿	18
未定（親族内）	75
自社の役員・従業員	59
M & A	14
未定（親族外）	33
合計	502

【調査：事業承継を進めるにあたっての障害・課題】



【障害・課題の回答状況】

後継者の教育	283
社内体制の見直し	211
後継者への株式の譲渡	194
後継者の探索・確保	194
取引先との関係維持	189
承継前後の事業計画	187
借入金・債務保証の引継ぎ	181
自社株の評価額	143
古参従業員の処遇	128
親族間の相続問題の調整	118
分散した株式の集約	91

経営指導員による巡回、窓口相談指導、専門家派遣

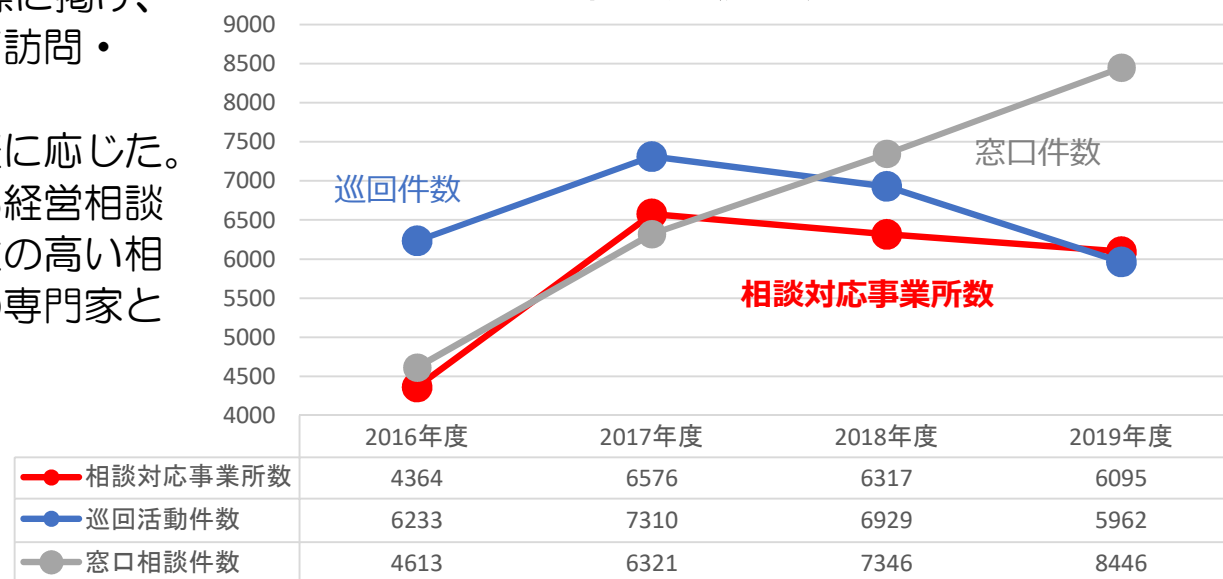
【経営指導員 巡回：5,962件、窓口：8,446件】 (計14,408件)

年間7,000事業所（地区外除く）の相談対応を目標に掲げ、巡回活動においては、地区担当職員を中心として訪問・支援活動に取り組んだ。

また、窓口では経営全般にかかる相談や専門相談に応じた。さらに、1月には「新型コロナウイルスに関する経営相談窓口」を設置し、各種相談に応じた。より専門性の高い相談内容に対しては、税理士や中小企業診断士等の専門家と連携し、これに対応した。

その他、小規模事業者持続化補助金等の申請支援をはじめ、各種事業計画の策定支援に積極的に取り組んだ。

経営者支援活動状況



【小規模事業者持続化補助金 申請支援実績】

	2015年5月		2015年7月		2016年5月		2017年1月		2017年5月		2018年5月		2019年6月		2020年3月	
	当所	全国	当所	全国	当所	全国	当所	全国	当所	全国	当所	全国	当所	全国	当所	全国
相談件数	97	-	59	-	187	-	142	-	99	-	233	-	191	-	75	-
申請件数	74	14,443	42	6,725	122	18,533	70	13,855	54	9,357	73	13,563	80	15,202	17	4,964
採択件数	34	5,259	38	4,292	60	6,136	43	6,402	17	2,649	62	8,804	78	13,099	17	5,508
採択率	45.9%	36.4%	90.5%	63.8%	49.2%	33.1%	61.4%	46.2%	31.5%	28.3%	84.9%	64.9%	97.5%	86.2%	100.0%	90.1%

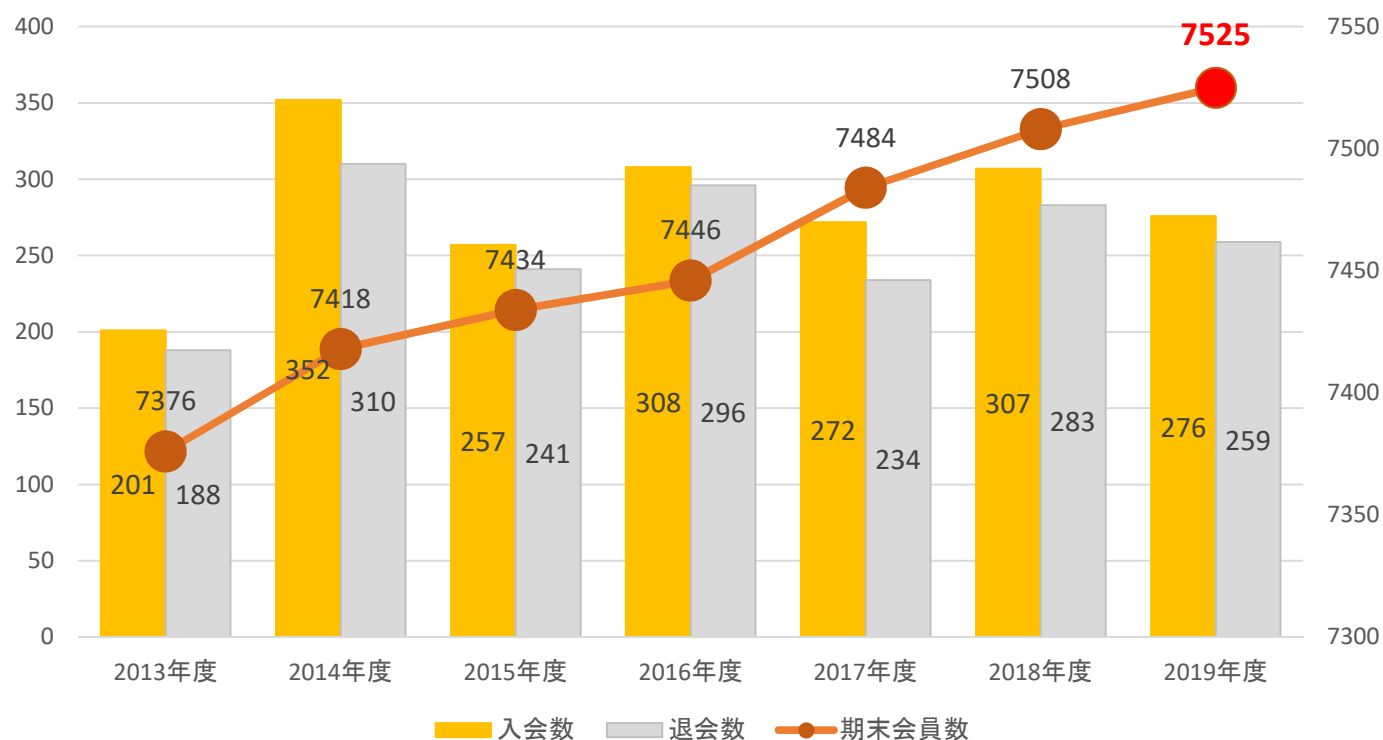
組織基盤の強化に向けた取り組み

会員増強の推進 【会員数 7期連続で増加】

日頃の巡回活動を中心とした当所サービスの普及活動や各種広報によるPR、会員紹介キャンペーン等を通じて積極的な会員増強運動を展開した結果、今期は276件の新入会を獲得した。（うち、会員からの紹介による入会167件）

廃業・倒産といった259件の退会件数を上回り、会員数は7期連続の増加となった。

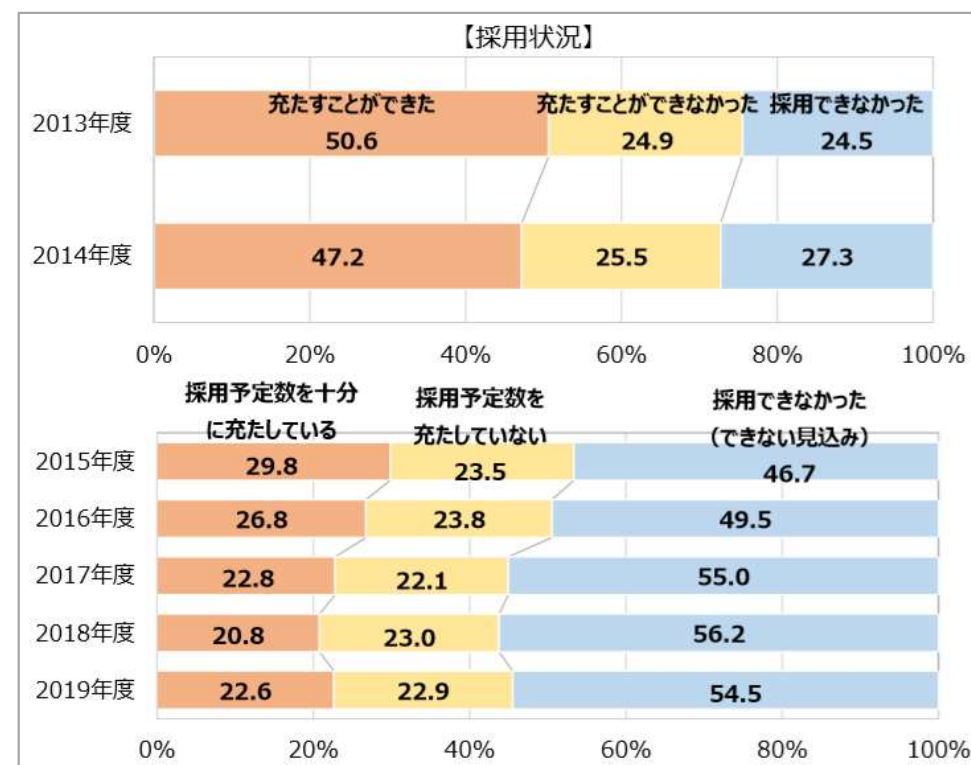
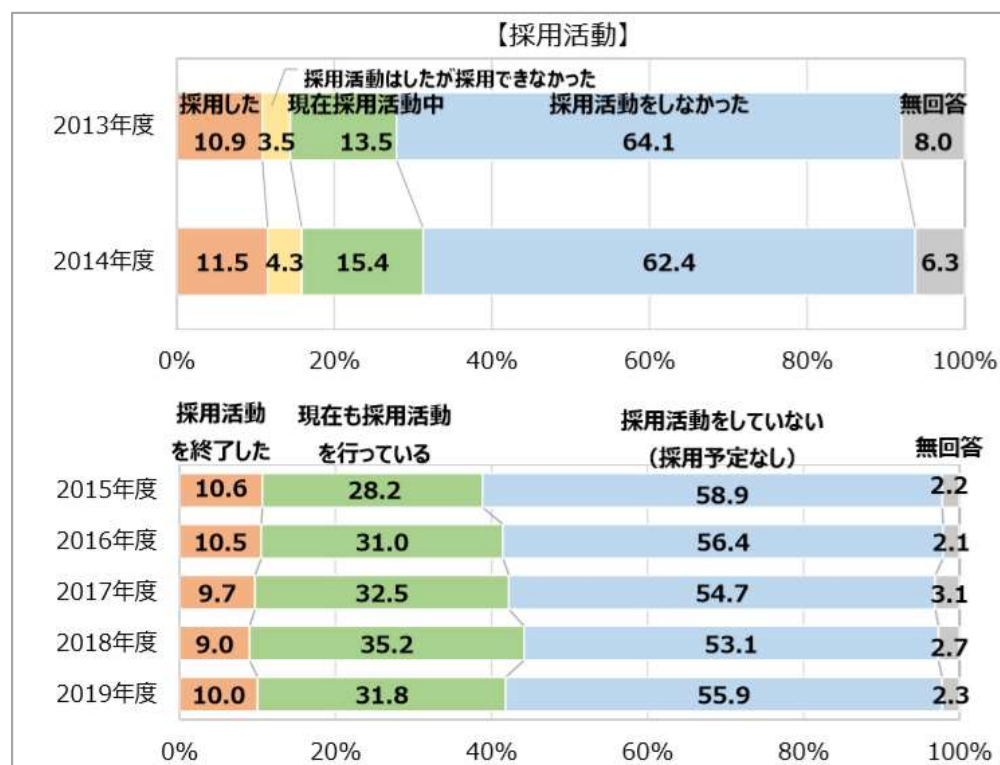
会員数の推移



会員事業所のビジネス総合支援 人材確保・育成に関する支援

人材採用に関する実態把握

中小企業が直面している課題を整理し、今後の意見活動に反映させることを目的に、人材採用に関する調査を実施した。（対象：5,022社 回答：1,159社）



〔主な結果〕

- 採用状況については、昨年対比では若干の回復傾向が見られたものの、依然として売り手市場が続いており企業にとっては厳しい状況となっている。

人材確保・育成に関する支援

人材育成支援（セミナー等）の実施

階層別研修や分野別研修を実施した。

また、新春経済講演会をはじめとする、各種講演会を開催した。

(新入社員・職種・階層別研修 35講座、受講者：1,200名)

福利厚生事業①（人間ドック・PET検査）

定例の簡易人間ドック事業を実施した。（受診者数：1,097名）

また、高度な健康診査であるPET検査も継続実施した。

福利厚生事業②（各種共済・保険）

会員の経営者や従業員を対象とした、生命共済制度、

特定退職金共済制度、業務災害補償プランをはじめとする

共済制度など、各種保障・補償の充実及び普及促進活動を実施した。

加入状況（事業所数）	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
生命共済制度	1,404	1,328	1,307	1,261
特定退職金制度	679	660	648	650
業務災害補償プラン	476	580	693	759
ビジネス総合保険	－	234	348	490
労働保険事務代行	305	323	349	368



人材確保・育成に関する支援

トライやる・ウィークの実施

地元企業への関心・愛着をもってもらい、将来の地元就職へのきっかけづくりとなるよう、中学生を対象に地元企業見学「トライやる・ウィーク」を実施した。



(見学先：グローリー(株) / (株)ニチリン)

各種検定の実施

【日本商工会議所・東京商工会議所検定 申込者数】

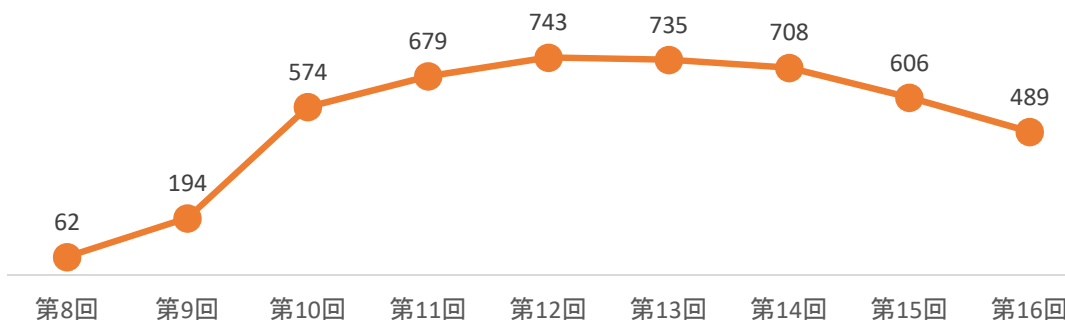
日本商工会議所検定	2017	2018	2019
珠算	1,398	1,459	1,482
簿記	2,314	2,061	2,352
リテールマーケティング（販売士）	157	152	142
PC（文書・データ・プレゼン）	138	121	138
東京商工会議所	2017	2018	2019
カラーコーディネーター	125	95	96
ビジネス実務法務	153	129	142
福祉住環境コーディネーター	359	291	298
eco	138	134	127
ビジネスマネジャー	92	109	77

【姫路検定の実施】

金融業界をはじめ企業からの団体受験申し込みがあり、2019年度（第16回）は489名の申し込みがあった。



姫路検定申込者数



人材確保・育成に関する支援

働き方改革への企業対応支援

4月より施行された「働き方改革関連法」に関して、中小企業がその対応を円滑に進められるよう、セミナーの開催や所報での情報提供を行った。

①セミナー名：わかりやすい！働き方改革関連法～今、企業が対応すべきポイント～

参加者数：51名

内容： 1. 働き方改革関連法の概要
2. 同一労働同一賃金と会社を守る就業規則
3. 長時間労働の是正

②セミナー名：今さら聞けない！？働き方改革基本の「き」

参加者数：43名

内容： 1. 時間外労働の上限規制について
2. 年次有給休暇の時季指定義務について
3. 同一労働同一賃金について

他



また、専門家と連携して「働き方改革相談窓口」を開設し、事業者支援に取り組んだ。

開設日：7月2日

開催日：毎週火曜日（13時～17時）

相談件数：28件

IT化支援

IT相談窓口

IT活用に関する相談に対し、その課題に応じた情報提供や相談対応を行った。

（相談・指導対応：64件）

主な支援内容：

- ・ IT関連補助金申請支援
- ・ ホームページ作成支援
- ・ 各種システム更新支援
- ・ セキュリティ対策支援

ITトピックスの紹介

所報掲載 6回

IT活用事例紹介



IoT・RPAセミナーの開催

参加者数：102名



グローバル化支援

外国人材活用に関する情報提供

所報にて、外国人材採用のトレンドや入管法改正のポイントについての情報提供、および外国人材を活用している事業所の事例紹介を行った。

海外展開相談窓口

海外展開相談窓口「アドバイザー制度」による会員事業所のグローバル化支援を、播磨国際協議会と連携し実施した。

外国人材活用スタートアップセミナーの開催

参加者数：179名

海外トピックス（海外こぼれ話）の紹介

所報掲載 12回

販路拡大支援

“はりまもん” 商談マーケットの開催

域内経済の活性化を図るため、域内で生産・販売するサプライヤーと域内に販売網を持つバイヤーとの商談会を開催した。

開催日：7月30日

場所：姫路商工会議所

参加者：①バイヤー 21社／②サプライヤー 67社

商談数：229件



会員ビジネス交流会の開催

姫路商工会議所会員を対象に、参加者間の人脈拡大や新たなビジネスチャンスを生み出す場として姫路商工会議所会員ビジネス交流会を開催した。

（参加者：2回 計104名）



「ひめじ商工会議所報」による事業所紹介の充実

キラ☆星企業



Step to the future



夢をカタチに



会員ひろば



OKAWARI日記



「キラ☆」と光る事業所紹介

当所支援先の事例紹介

当所創業支援先の紹介

無料情報発信コーナー

職員がお勧めするランチ紹介

ひめじ商工会議所報を通じて、会員事業所のPR発信を行った。

2019年度 掲載事業所数 192件

キラ☆星企業
夢をカタチに
OKAWARI日記

7件
12件
24件

Step to the future 5件
会員ひろば 144件

法改正対応に向けた事業所支援

消費税率引上げや軽減税率制度等、法改正への対応を会員事業所が円滑に対応できるよう、対策セミナーの実施及び、所報にて関連情報をタイムリーに発信した。



消費税率引上げ・軽減税率制度導入に向けた対応が必要です

2019年10月から実施される消費税率引上げ・軽減税率制度は、「全ての事業者」に影響があります

複数税率に対応できるようレジの導入・改修をしましょう

レジは複数税率対応が必須

2019年10月以降は、標準税率(10%)と軽減税率(8%)のいずれにも対応できるレジが必要になります。

その際レジでは、
①複数の税率で売上を登録すること
②区分記載請求書等の発行
が必要になります。

イートイン	持ち帰り
飲食店	飲食店
10%	10%
8%	8%

区分記載請求書	2019年10月以降
標準税率(10%)	標準税率(10%)
軽減税率(8%)	軽減税率(8%)

「軽減税率対策補助金」と「キャッシュレス・消費者還元事業」の概要					
軽減税率対策補助金 自己負担額 1/4 2019年9月30日までに導入・修正・支払が必要			キャッシュレス・消費者還元事業 2019年5月から 中小・小規模事業者の登録も開始予定 実施期間：2019年10月～2020年6月		
受発注システム (B型)	請求書システム (C型)	レジと周辺機器 (A型)			
流通段階 B to B			小売段階 B to C		
受発注システムの改修 ※1	請求書システムの改修 ※2	複数税率レジと周辺機器の導入 ※3	決済金額 ※4	決済手数料 ※5	決済端末 ※6
飲食料品の販売 電子的な受発注システムを改修・入替 発注	税率ごとに区分して合計した税込額等を記載 請求書	レジ 券売機	消費者へのポイント 5%還元	加盟店手数料が 3.25%以下に さらにその 1/3	端末代金の自己負担額 0円 電子マネーリーダー

プレミアム付商品券の発行

消費税率引上げへの対応として、消費喚起を目的に「姫路市プレミアム付商品券」発行事業を実施した。

参加店舗数	1,383店舗
販売冊数	233,115冊
販売総額	1,165,575,000円
うちプレミアム額	233,115,000円



姫路経済研究所①

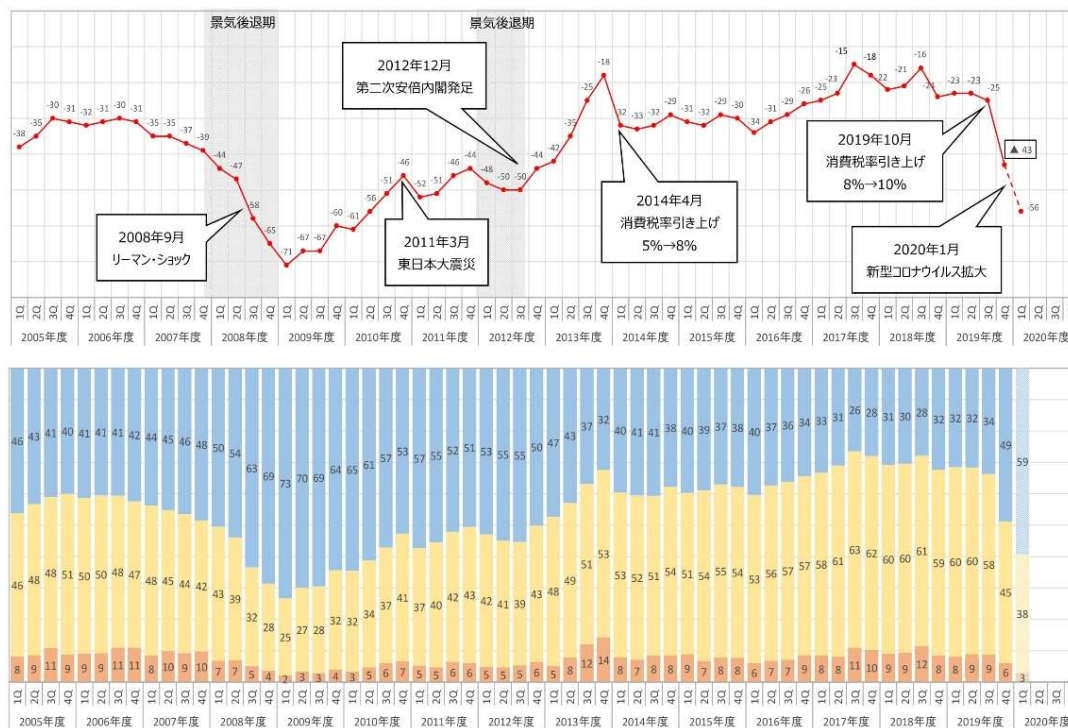
地域経済活性化に向けた事業活動の基礎資料を整備するため、企業を取り巻く環境や企業経営に必要な各種情報の収集・分析・調査を実施。

景気動向調査

当所会員企業を対象に、四半期ごとに企業実態と動向を把握。景気情報として会員企業に提供するとともに、今後の政策提言・要望活動に活用。

(調査企業 約5,000件 回答率 約25%)

第4四半期の景況感は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により大幅に悪化。リーマンショック時や消費税率引き上げ時の悪化幅を上回る調査開始以来最大の下げ幅を記録した。



〔景気動向調査〕業況D I の長期推移

特別調査

会員の企業活動に大きな影響を与えうる事業について調査。

今年度は、

- 消費税率の引き上げに伴い実施される「軽減税率制度」に関する調査
- 働き方改革に関する調査
- 人材採用・人件費に関する調査
- 新型コロナウイルス拡大に関する影響調査について調査した。

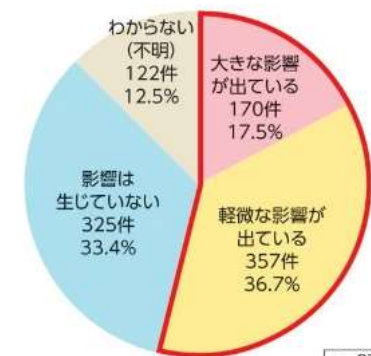
特別調査 「新型コロナウイルス拡大」に関する影響調査〔速報〕

Q1. 経営へのマイナスの影響について

新型コロナウイルスによる経営へのマイナスの影響について、「影響が出ている」「大きな影響が出ている」と「軽微な影響が出ている」の合計と回答した割合は54%で半数以上を占める結果となった。

規模別では、規模が大きいほど「影響が出ている」の回答割合が高い傾向になっている。

業種別では、飲食・宿泊業で「影響が出ている」が約95%に達しており、他の業種に比べて突出して高い結果となった。



姫路経済研究所②

数字で見る姫路経済

姫路経済の情勢を把握するため、人口、産業構造などの指標・グラフをまとめ、「数字で見る姫路経済2019」として刊行した。



4 産業 (1) 産業構造

播磨域の中核都市としての姫路の産業は、臨海部に立地する鉄鋼、化学、電気機械などの重工業と活発な商業活動により発展してきた。こうした経済基盤のもと、産業構造も変化しつつある。

■事業所数 (単位：事業所)

分類	姫路市	全国
卸売業、小売業	6,296	1,355,060
宿泊業、飲食サービス業	3,356	696,396
建設業	2,156	492,734
製造業	1,999	151,800
生活関連サービス業、娯楽業	1,993	470,713
医療、福祉	1,645	429,173
サービス業(他に分類されないもの)	1,603	346,616
その他	4,712	1,095,291
合計	23,660	5,340,783

(資料：平成28年経済センサス-活動調査)

■従業者数 (単位：人)

分類	姫路市	全国
卸売業、小売業	50,127	11,843,869
製造業	49,245	8,864,253
医療、福祉	30,541	7,374,844
宿泊業、飲食サービス業	22,266	5,362,088
サービス業(他に分類されないもの)	20,197	4,759,845
建設業	17,594	3,690,740
運輸業、郵便業	14,566	3,197,231
その他	10,434	11,779,956
合計	244,970	56,872,826

(資料：平成28年経済センサス-活動調査)

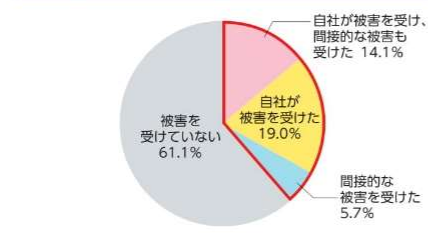


姫路市内企業の危機対応に関する調査

中小企業の緊急事態の想定や事業継続計画（BCP）など、危機対応に関する取り組み状況について実態把握を行った。

1 自然災害による被害状況

過去の自然災害による被災状況 ※1 (N=1204)



具体的な災害の種類 (N=466、複数回答)

	台風・強風	豪雨・洪水	地震	津波	土砂災害	その他
全体	317件	213件	151件	19件	13件	25件
	68.0%	45.7%	32.4%	4.1%	2.8%	5.4%
地域別						
姫路市内のみ	66.1%	39.6%	23.0%	3.2%	1.4%	7.1%
姫路市外あり	71.0%	55.2%	47.0%	5.5%	4.9%	2.7%

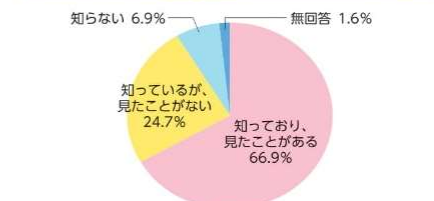
具体的な被害の内容 (N=463、複数回答)

2 防災・減災対策の支援制度

想定しているリスク (N=1166、複数回答)

	洪水・豪雨・台風	地震	火災・爆発	通信の途絶	インフラの途絶	倒壊・事業中断	取引先企業の倒産	物流網の途絶	その他
全体	1,000件	900件	539件	527件	496件	319件	306件	13件	
	85.8%	77.2%	46.2%	45.2%	42.5%	27.4%	26.2%	1.1%	
地域別									
姫路市内のみ	83.8%	74.8%	43.8%	42.3%	41.9%	25.2%	22.9%	1.0%	
姫路市外あり	91.5%	84.4%	53.4%	53.7%	44.6%	33.7%	36.1%	1.4%	

ハザードマップの認知状況 (N=1204)



事業継続力強化計画の認知状況 ※2 (N=1204)



姫路の経済指標調査

姫路市内の月別の経済状況を把握するため、主要な経済指標を収集し、その結果を公表した。

姫路ものづくり支援センターにおける相談事業の拡充

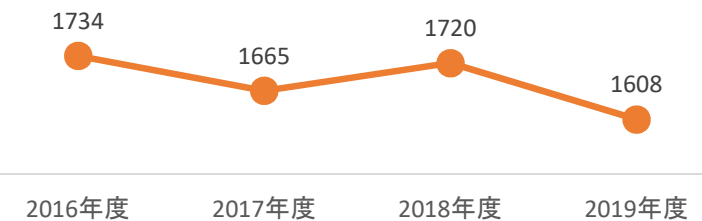
専門ディレクターを中心に、補助金申請や大企業へのシーズ提案等情報提供等を積極的に行った。
また、県立大・姫路市・兵庫県との連携を強化し、姫路のものづくり支援のプラットフォーム化に取り組んだ。

県の産業支援機関（ひょうご科学技術協会・ひょうご産業活性化センター）との連携により、姫路のワンストップ窓口としての機能充実を図った。

支援施策や成長産業・新産業、生産性向上など、タイムリーなテーマでセミナーを開催した。（計13回開催、延634名参加）

また、ものづくり補助金をはじめとする公的支援制度の活用支援や、相談内容に応じた相談先・連携先紹介等を行った。

ものづくり支援センター相談件数



ものづくり補助金申請支援状況（2016年～2019年）

	2016年度		2018年度		2019年度	
	H27（一次・二次）、H28		H29（一次・二次）		H30（一次・二次）	
	当所	全国	当所	全国	当所	全国
相談件数	78		36		49	
申請件数	41	42,176	21	23,467	35	20,803
採択件数	15	14,105	11	11,914	11	9,531
採択率	36.6%	33.4%	52.4%	50.8%	31.4%	45.8%



ものづくり産業における支援体制・情報発信の強化

成長産業・新産業に関する情報収集・発信

オープンイノベーションの紹介や、医療機器・ロボット活用といった成長産業・新産業をテーマにセミナーを開催した。また、各セミナーの概要をまとめ、所報に掲載。特集記事「産業最前線」と題し、会員事業所に向けて幅広く情報発信した。

産業最前線			
掲載号	カテゴリ	講演テーマ	講師
10月号	I o T・R P A	中堅・中小製造業の身の丈 A I / I o T R P A の活用に向けて ～ R P A 概要と富士通の取り組み～	ウイングーク1st 富士通工フ・オー・エム
11月号	医療機器	医療機器ビジネスの今 ～播磨のものづくり力を活かして医療分野へ 兵庫県立はりま姫路総合医療センター（仮称）の概要と医工連携への新たな期待	日本医工ものづくりコモンズ 製鉄記念広畑病院
12月号	オープンイノベーション	未来は「光」でおもしろくなる ～ウシオ テクノラボからはじまる新事業創出～ シスメックスの個別化医療への取り組みとオープンイノベーション	ウシオ電機 シスメックス
1月号	ロボット活用	ロボットシステムインテグレータの役割、最先端技術によるロボットアプリケーションの紹介 現場に改革を ～ロボット導入による自動化のすすめ～	バイナス 宮脇機械プラント



まちづくりステーション街の駅・みゆき通りステーションを拠点とした 中心商店街の活性化支援

「情報発信」、「利便性向上」、「交流」、「まちのコンサルティング」の4つの機能を充実させ、商店街利用者への利便性を高めるとともに、各種イベントや個店等の情報を発信することで集客を高め、活気あるまちづくりに貢献できるよう取り組んだ。

また、中心市街地エリアにおける商業活性化策として、新規顧客獲得やリピーター創出を目的とした「姫路得とくゼミナール」や「姫路まちなかバル」等の事業を実施した。

姫路得とくゼミナール（第17回・第18回）

（開催：2回・延59店舗・64講座・計733名参加）

各店の存在や特徴を、店主が講座を通じて顧客に発信し、交流を深め、将来的にリピーター客へと深化させていくことを目的とした、セミナー形式の事業を実施した。

姫路まちなかバル（第8回）

（開催：1日、110店舗・チケット発行数2,833冊）

中心市街地における飲食店の新規顧客獲得とリピーター創出を目的とした、チケット制の食べ歩き事業を実施した。参加店は当日限定の「バルメニュー」を提供し、来店されたお客様にダイレクトにお店の魅力をPR。忘年会前の時期に実施することで、新たなお客様の獲得だけでなくリピーターの創出に繋がった。



まちづくりステーション街の駅



みゆき通りステーション
（7月末閉館）



姫路得とくゼミナール



姫路まちなかバル

観光産業の育成に向けた取り組み・支援

観光振興

姫路2020おもてなし推進協議会（構成団体：姫路商工会議所、姫路市まちづくり振興機構、姫路市文化国際交流財団、姫路観光コンベンションビューロー）において、日本の伝統文化を通じて姫路を世界へ発信するなどの取り組みを行った。9月13日に開催された観月会では、姉妹都市であるベルギー（シャルルロア市）、アメリカ（フェニックス市）、ブラジル（クリチバ市）をイメージして制作された着物を披露した。



スポーツ振興

「行政に対し施設整備の要望」や「当所会報誌による広報発信」等、トップスポーツの支援を行った。



ヴィクトリーナ姫路
V1リーグ残留！



V1初挑戦の2019-20シーズン全日程終了！

レギュラーラウンド最後のホームゲームで熱戦を繰り広げました。2019年12月28日（土）、29日（日）の両日、ヴィクトリーナのレギュラーラウンド最終戦2試合が地元姫路のウイング体育館でホームゲームとして開催されました。

28日はNECレッドロケッツ、29日は岡山シーガルズを迎えての戦い。地元応援団の大声援を背に選手も奮闘し、どちらの試合も第一セットを先取しリードする展開でしたが、一歩及ばず、いずれもセットカウント1-3で敗れ、3勝18敗の成績でレギュラーラウンドを終えました。



来季V1残留をかけた最後の戦いへ

レギュラーラウンドの結果を受け、プレミア、スターの各カンファレンス下位2チームの計4チームが1回戦総当たりにより今季の順位を決定する「チャレンジ4」に臨みました。試合は1月11日（土）～13日（月）の3日間にわたり山口県宇部市の徳田記念体育館で開催され、PFU（石川県）、日立（茨城県）、KUROBE（富山県）の3チームと対戦しました。

結果は0勝3敗で、V1での今季の順位12位が確定し、2月22日（土）・23日（日）に静岡県浜松市で行われる入替戦でV1残留をかけたV2の1位チームと戦います。最後まで戦い抜きますので、応援をよろしくお願いします！



リーグ戦6位で閉幕

なでしこリーグ2部の全試合が終了し、6位の成績となりました。

前半戦はなかなか苦しい戦いも多かったですが、後半戦はチームの連携もよくなり得点へとつながることができました。

1部昇格へ近づくためにも、この悔しさをバネに来年へとつなげられるよう選手スタッフ一同がんばります。2019シーズンも応援ありがとうございました！来シーズンも引き続き、よろしくお願いいたします！！

2019シーズン戦績

リーグ2部 6位(8勝3分7敗)
カップ2部(Bグループ) 2位(4勝1分3敗)



ASハリマアルビオン
今期リーグ戦6位！

経営支援施策や地域活力増進施策に関するタイムリーな提言・要望活動

巡回活動等で集めた会員のニーズをもとに、唯一の地域総合経済団体として、各種提言・要望活動を行った。

姫路市への提言・要望活動

- ・姫路市との経済振興対策会議を通じた意見交換

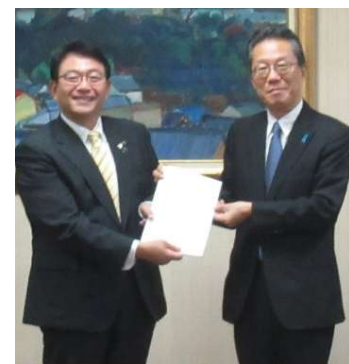
定期的に開催している「姫路市・姫路商工会議所 経済振興対策会議」において、地域戦略に基づいた施策や経済活性化に向けた様々な取り組みについて幅広く意見交換を実施。（年4回開催）

- ・姫路市政に対し要望書を提出（10月10日）

創業・事業継続に関する支援、小規模事業対策予算の拡充、人材の確保と定着、姫路経済研究所の継続的な活用、姫路ものづくり支援センター事業への支援、DMO体制の早期整備、などを要望した。



経済振興対策会議



清元市長に要望書を提出



井戸知事に要望書を提出
（神戸cci家次会頭と）

兵庫県への提言・要望活動

- ・兵庫県政に対し要望書を提出（10月7日）

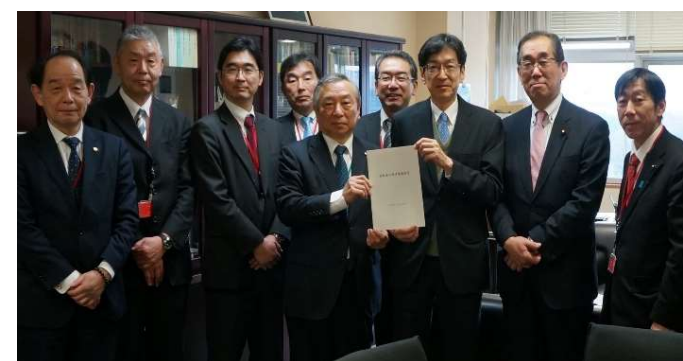
人材採用支援、事業承継支援、交通インフラ整備、医産学連携拠点、トップスポーツ運営支援、などを要望した。

国への提言・要望活動

- ・播磨臨海地域道路の早期実現に関する要望
- ・姫路港港湾整備促進に関する要望



国交省 池田道路局長に
要望書を提出



国交省 高田港湾局長に
要望書を提出

関連団体等との連携強化

姫路商工会議所 青年部

30歳から50歳までの若手経営者・後継者が集い、その資質向上や地域経済の発展に寄与することを目的に活動。様々な委員会を中心に地域交流事業を実施し、人脈形成を図っている。



2019年度 青年部理事メンバー



SHIRONIWAフェス

姫路商工会議所 女性会

企業発展のための研究や文化的な教育教養の習得を目的に、女性経営者で組織された団体。

毎月の定例会の開催や、県内外女性会との積極的な交流を行っている。



講師を招いての勉強会



納涼例会

新体制のもと設置された7つの委員会

新体制の発足に伴う委員会の改編を行い、12月10日の第423回常議員会において、委員長、副委員長、委員を決定しました。（任期：2022年10月まで）

◆ 税制・働き方改革委員会

委員長 寶角 勝利

〈活動方針〉

税制・法改正への対応に
関する取り組み

◆ 都市まちづくり委員会

委員長 米谷 啓和

〈活動方針〉

魅力あるまちづくりに向けた
取り組み

◆ 総務運営委員会

委員長 安田 宏行

〈活動方針〉

姫路商工会議所の組織強化
に向けた取り組み

◆ 中小企業委員会

委員長 梶原 敏樹

〈活動方針〉

会員事業所のライフステージに応じた
経営課題への対応に関する取り組み

◆ 観光委員会

委員長 岡田 兼明

〈活動方針〉

観光・交流を通じた地域活性化
に向けた取り組み

◆ 設立100周年記念事業特別委員会

委員長 瀧川 祥也

〈活動方針〉

設立100周年事業に関する取り組み

◆ 工業委員会

委員長 柴田 和久

〈活動方針〉

ものづくりの強みを活かした産業振
興に関する取り組み

事業所支援基盤の整備

経営発達支援計画の策定

小規模事業者における事業の持続的発展に向け、経営戦略に踏み込んだ支援を実施していくため、「経営発達支援計画」を策定し、経済産業大臣から認定を受けた。

【実施期間】 2020年4月1日～2025年3月31日（以降、更新の必要あり）

- 【目 標】
1. 創業・事業承継支援の強化
 2. IT・ICT活用等による生産性向上支援の強化
 3. 工業・商業の振興を通じた事業所支援の強化
 4. 観光産業の育成および地域ブランドの向上

事業継続力強化支援計画の策定

防災・減災に取り組む小規模事業者の事業継続力強化に係る支援事業（普及啓発、指導助言、復旧支援）に関する計画「事業継続力強化支援計画」を姫路市と共同で策定し、兵庫県の認定を受けた。

【実施期間】 2020年4月1日～2025年3月31日（以降、更新の必要あり）

- 【実施内容】
1. 小規模事業者に対する災害リスクの周知
 2. 関係団体等（損保会社・専門家等）との連携
 3. 小規模事業者のBCP等取り組み状況に対するフォローアップ 等

組織基盤の強化に向けた取り組み

事務局機能の強化

○働き方改革に向けた取り組み

①健康経営優良法人2020認定取得

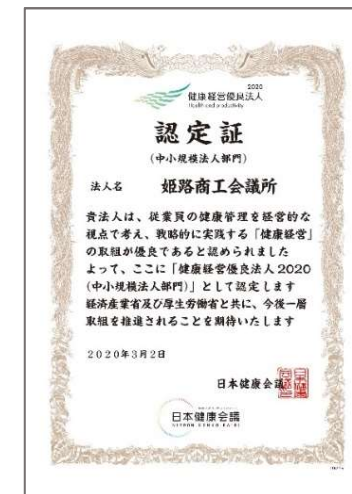
職員の健康保持・増進に向けた取り組みを実践し、事務局全体の生産性向上・組織活性化を促すための環境整備を図った。

〈評価された主な項目〉

- ・適切な働き方実現に向けた取り組み
- ・従業員の感染症予防に向けた取り組み
- ・長時間労働者への対応に関する取り組み
- ・法令遵守およびリスクマネジメント など

②時間外労働時間 ⇒ 前年比270時間削減

③年次有給休暇 ⇒ 総取得日数760日



健康経営優良法人2020認定証

時間外労働時間・有休取得数 過去3年のトレンド

	2017年度	2018年度	2019年度
時間外労働時間 (時間)	7,272	5,539	5,269
有休取得数 (日)	685	748	760

○職員研修制度による資質向上

業務遂行上必要とされる資格・検定の取得に向け、受験料・受講料等を補助。職員の資質向上に取り組んだ。

○設立100周年に向けた準備

記念誌の企画や所報による連載等、100周年に向けた事業の検討および実施に取り組んだ。



所報連載「100年を振り返る」